

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ	
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会	
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟	
代表団体名	公益社団法人 松山法人会	
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動 詳細	現状・課題	雇用形態は多様化し、就職観も変化し続ける中で、中小零細企業は経営リスクとして労働力不足を認識しており、人材を確保し、維持するための更なる働き方改革と積極的で効果的な求人プロモーションが求められている。 また、依然として有効求人倍率並びに大企業への就職希望者は高推移しており、就職を機とした市外流出が拡大していくと予想される。
	活動内容	<p>1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の創設</p> <p>（1）一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できる「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」を創設。 * 優良企業の選定方法、実態調査ヒアリングは同様のものとする。 （2）えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大のキャリア教育授業等からの企業派遣依頼を受ける。「みつけふえ」プログラムの活用を推進する。 （3）企業派遣依頼に基づき「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」へ依頼、派遣する。</p> <p>2. 働きやすい職場づくり企業への求人プロモーション支援（専門家派遣事業）</p> <p>働き方・休み方改革や社内風土づくり、女性の働きやすい職場づくり等を積極的に取組んできた企業（ワークライフバランス優良企業）に対して、専門家（社会保険労務士等）を派遣し、今後、労働市場で勝ち残るための求人プロモーション支援を行なう。 ／ 10事業所程度× 5回程度 働きやすい職場づくり支援（制度づくり）に関しては、愛媛労働局、愛媛県や各支援機関の専門家派遣事業等と連携する。 支援企業は、「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」を通して各大学短大のキャリア教育授業へ積極派遣を行なう。</p>
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
	事業費	1,569,669 円
	活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p>1. 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の創設</p> <p>2. 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の登録企業数 50社</p> <p>2. 求人プロモーション支援事業 ⇒社会保険労務士等の派遣 10 事業所程度× 5 回程度</p>

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
松山市補助金	1,500,000 円	
法人会負担	69,669 円	
	円	
	円	
合 計	1,569,669 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	520,800 円	日給7,000円×248日×1名×0.3（業務按分割合）
人件費	85,000 円	法定福利費×1名×0.3（業務按分割合） （雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出（概算））
人件費	14,760 円	通勤手当 4,100円×12ヶ月×1名×0.3（業務按分割合）
旅費	22,200 円	訪問による車両交通費（@37*50km*12ヶ月）
報償費	300,000 円	求人プロモーション支援事業 @5,000×10事業所程度×5回程度 実態調査ヒアリング@5,000*10事業所
需用費	150,000 円	チラシ、広報誌等
需用費	120,000 円	消耗品@10,000*12ヶ月
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代（@16,000*12ヶ月）×0.3（業務按分割合） 事務所費@8,920*12ヶ月（実績算出）×0.3（業務按分割合） 光熱費@15,000*1名（実績算出）×0.3（業務按分割合）
使用料及び賃借料	120,000 円	郵便料、電話料（@10,000*12ヶ月）
消費税	142,697 円	消費税10%
合 計	1,569,669 円	

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ		
部会名			
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈		
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ		
構成メンバー	松山商工会議所、ジョブカフェ愛work など		
活動テーマ	ええ会社づくり		
活動項目	「条例の推進活動」		
活動詳細	現状・課題	<p>主体的な働き方改革の活動の場として「まつやまワークワク部」を設立し3年目を迎えた。一昨年の部員は63名、令和元年度は42名で活動中（19.10.18現在）。部員数は減ったものの、本気で自社（自社）を変えていきたいと志すもの同士、お互いに刺激を受けつつ、次なる行動をおこそうとする動きも見えてきた。しかしながら、自社内で孤高奮闘している部員の実情も見受けられる。部活動のような社外での人間関係の築きが、個人の行動を促す（背中を押す）きっかけになっており、この場の必要性を感じる。現在はまだ部員自身が主体となって行動をし始める準備をしているといった段階で、部員の士気を下げないためにも、今後は部員が行動してことに事務局が伴走しつつ、部員同士切磋琢磨する場づくりを継続していくこと、働き方改革で改善できたことを見える化していくことが課題だと考えている。</p>	
	活動内容	<p>【条例の推進活動】 まつやま働き方改革推進会議の分科会「まつやまワークワク部」の活動を事務局としてより具体化していく。 ※令和元年度の活動の振り返り 平成30年度と同じく入部者の属性は、経営者・人事採用・現場の方・フリーランス（個人事業者等）・公的機関と様々で、また入部目的も「会社を変えたい・自分自身を変えたい」という思いを持たれている方、「情報が得たらいい」という消極的な姿勢の方、「どんな活動をしているのが興味があって」という方など色々な思いを持った方のコミュニティである。年度初めには年間スケジュールを作成し、個々のイベントに対する対象者や目的（新規部員向けの企画、部員満足のための企画、部員の学びの場の企画など）を明確にして企画運営した。</p> <p>1. まつやまワークワク部の活動充実のための環境づくり ・部活のコンセプトや活動スケジュール、随時調整 ・WEBやSNSを使った定期的な情報発信 ・入部説明、入部に悩む方々への打診、フォロー ・入部手続き事務（メールでのやり取り、請求書、領収書発行等）</p> <p>2. まつやまワークワク部の主体的な活動促進 ・部員の持ち込み企画や活動の引き出しと伴走 ・部員などが話題提供者となって開催するワークワクBarの企画運営 ・部員個別への投げかけや必要に応じてのメンタリング ・部員同士交流促進のための場づくり企画運営 ・協力団体等、他の協働者との企画、実施</p>	
	事業期間	令和2年 4月 1日 ～ 令和3年 3月 15日	
	事業費	1,500,000 円	
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ●部員学びの場（部員のための勉強会）⇒開催回数5回、参加人数各回15名 ●部員交流の場（ワークワクBar）⇒開催回数10回、参加人数各回10名 ●部員アウトプットの場（印刷物作成もしくは情報発信のための集まり）⇒開催回数5回、参加人数各回15名 ●新規部員開拓の場（イベント開催）⇒開催回数2回、参加人数各回30名 		

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

変えようや松山! 働き方改革先進都市へ

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要 (積算基礎等)
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要 (積算基礎等)
賃金	1,356,000 円	事務局担当者
旅費交通費	48,000 円	スタッフ移動費
通信費	36,000 円	3,000円×12か月
使用料及び賃借料	60,000 円	PC1台レンタル代5,000円×12か月
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	中小企業の魅力発信で人材確保を促進	
部会名	人育ち応援部会	
部会長・副部会長名		
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会	
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、愛媛大学、松山大学、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ、愛work（予定）	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では昨年に引き続き経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が第1位の回答で高止まり状態となっている。 また中小企業家同友会全国協議会では『働く環境づくりのガイドライン』として総合版、普及版、『人を生かす就業規則』などの成果物が発刊され、経営者自身が基礎的力量として労務及び労務管理を学ぶことが全国的に方針化されており、中小企業が整備すべき啓発が必要である。
	活動内容	<p>(1) 職場環境改善・啓発セミナー 中小企業の大きな課題である求職者に選ばれるような魅力ある企業づくりに取り組む。 開催時期：年4回から可能であれば最大6回程度で開催予定 開催場所：主に愛媛大学、松山大学の学内、公共施設を利用。 参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。 企画内容：中小企業経営者の職場環境改善の経営実践報告、自社への活用に向けて参加者のグループ討論を主とする。</p> <p>(2) 大学と連携した学生との意見交換・交流学習会 中小企業家同友会と包括協定を結んでいる愛媛大学と学校法人松山大学と連携し、学生との懇談会・ワークショップと興味・関心のある学生には企業見解も併せて開催。 中小企業の価値を発信し、キャリア教育にも資するとりくみを行う。 要項： 開催時期：年4回程度で開催 開催場所：主に愛媛大学、松山大学の学内、公共施設を利用。企業見学もかねて参加企業会議室でも行う。 参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。 学生の参加者は数名程度から最大20名程度を想定。 企画内容：参加する中小企業者より、経営理念やビジョンなど、各回でテーマごとに学生へプレゼンをし、学生目線・価値観でプレゼン・PR・情報発信方法などに意見を頂き、中小企業の情報発信力を強化し採用力を強化を狙う。学生には中小企業経営者のお悩み相談会など、就職活動に関するアドバイスも行う。 また、企画で経営者・学生が互いに交流する中で、希望する学生には企業見学やインターンシップにもつながることを狙う。</p> <p>参加企業には、(1)のセミナーに参加したうえで、(2)の企画で職場環境改善の実践状況やとりくみを発表する機会を設けることで、各社の魅力ある企業づくりのとりくみの発信をする相乗効果を狙う。</p>
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
	事業費	1,500,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p>・中小企業自身の職場環境整備を進め、社員にとって働きがいとやりがいのある魅力的な職場づくりにつなげる。 開催回数：4～6回、参加50社、参加人数のべ130～200名</p> <p>・学生らへ中小企業の魅力や中小企業の職場にある教育力を発信することで、中小企業の弱点である広報情報化・情報発信力を強化する。新卒採用で選択肢として射程に入れてもらい、中小企業の採用力をつける。 参加企業30社</p>	

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	300,000 円	事務担当者の人件費
事務経費	80,000 円	事務に係る郵送費、消耗品費、会合諸経費
報償費	430,000 円	中小企業・職場見学会実費（弁当、企業見学科、資料代、学生交通費助成等）：70,000円 セミナー講師謝金（講師：@30,000円×6名） セミナー講師交通費（講師：@30,000円×6名）
通信費	20,000 円	チラシ等の案内郵送費
印刷製本費	50,000 円	チラシ、資料印刷費
旅費交通費	120,000 円	打ち合わせ会合のための交通費等の実費
委託費	500,000 円	セミナー委託費 ・人件費450,000円 ・セミナー会場費：50,000円
合 計	1,500,000 円	